

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)

令和7年1月22日

協議会名:東温市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
伊予鉄バス株式会社	白猪滝口～東温市役所【河之内線の一系統】	定期的に利用者数を調査により状況把握に努めるとともに、公共交通マップの配布や、広報誌への公共交通に関する情報の掲載、転入者へのモビリティマネジメントの実施や、パーク&ライドの増設など、利用促進に繋がるような取組を引き続いて行った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	<p>B 河之内線について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【結果】利用者数 3.1人/便 目標:利用者数 3人/便 目標達成率: 103.3% (前年比: 110.7%) (前々年比: 124.0%) ・【結果】利用者一人当たりの収支差 ▲1,045千円 目標:利用者一人当たりの収支差 ▲970千円 目標達成率: 92.2% (前年比: 115.0%) (前々年比: 97.2%) ・【結果】公的負担額3,385千円 目標:公的負担額3,437千円 目標達成率: 101.5% (前年比: 97.1%) (前々年比: 95.6%) ・年間を通じての1便当たりの利用者数は3.1人となり、目標を達成した。ここ数年は新型コロナウイルスの影響を受けていたが、コロナ禍以前の利用状況へ戻っている。 ・昨年度同様、燃料の高騰等による経常費用の増加は変わらず続いており、今後の課題となっている。 	<p>利用者についてはコロナ禍以前の利用状況に戻っている。本年度は、スタンプラリー事業を実施し、利用促進、新規利用者の増加に努めている。また、川内バスターミナルのEV充電設備整備と共に新しくパーク&ライド、サイクル&ライド、待合所設備も整備され山間の路線へと繋がる交通結節点としての利便性向上を図った。</p> <p>来年度、公共交通の改訂に向けて、利用状況やニーズの調査を実施する予定である。調査を踏まえて地域公共交通計画を策定し、市民のニーズを取り入れながら、効率的かつ持続可能な公共交通の維持確保に資する取組を進めていく。引き続き、公共交通に関する情報の発信、転入者へのモビリティマネジメントを継続し市民の利用への意識を高めながら、収支差の改善に向けて経費削減を目指す。</p>